

横浜市救急医療センター  
指定管理者選定評価委員会  
審査報告書

平成 26 年 10 月

## 1 経緯

横浜市救急医療センターの指定管理者の選定にあたり、横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）は、応募団体から提出された応募書類、プレゼンテーション及び応募団体へのヒアリングを行ってきました。

この度、審査が終了し、指定候補者を選定しましたので、ここに審査結果を報告します。

## 2 横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会委員

委員長	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科教授
委員	遠藤 淳子	日本公認会計士協会神奈川県
	おち とよこ	ジャーナリスト
	恩田 清美	東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室 上席研究員
	林 宗貴	昭和大学藤が丘病院 救急医学科 教授

## 3 選定経過

公募要項等の決定 (第1回選定評価委員会)	平成26年9月2日(火)
公募要項の配布	平成26年9月3日(水)～10月3日(金)
現地見学会及び応募説明会	平成26年9月10日(水)
公募要項に関する質問受付 (質問書提出:1件)	平成26年9月10日(水)～9月12日(金)
公募要項に関する質問回答	平成26年9月29日(水)
応募書類の受付期間 (応募団体数:1団体)	平成26年10月2日(木)～3日(金)
審査・選定 (第2回選定評価委員会)	平成26年10月16日(木)

#### 4 審査にあたっての考え方

選定評価委員会では、「横浜市救急医療センター指定管理者公募要項」（以下、「公募要項」という。）において定めた評価基準項目にしたがって、応募団体から提出された応募書類の審査、プレゼンテーション及び応募団体へのヒアリングを行いました。

審査にあたっては、162点を各項目に配分し、各委員が評価項目ごとに採点したうえで、その合計点を審査得点としました。

また、最低基準を評価項目1～6の合計点の6割と定め、審査得点が最低基準を満たさない場合は、選定しないこととしました。

##### 【評価基準項目及び配点】

項目	配点
1 団体の状況	15
2 基本方針	5
3 職員配置・育成	10
4 施設の管理運営	40
5 事業計画	60
6 収支計画及び指定管理料	20
7 前期の指定管理業務の実績	12
合計	162

※詳細は別添1「評価基準項目、配点」

#### 5 応募者の制限

応募団体について、公募要項に定める「応募者の資格」を満たしていること及び「欠格事項」へ該当がないことについて確認しました。

#### 6 審査結果・審査得点

選定評価委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体を指定候補者に選定しました。

指定候補者 一般社団法人横浜市医師会 514点（648点満点）

※審査得点の詳細は別添2「評価結果一覧表」

## 7 審査総評

- 資金として流動的なものが多く、短期の支払い能力についても不安はないことから、全体としては、施設の運営に支障が出るような状態にはなく、健全な状態にあるといえる。
- 実績もあり、十分な運営を行っているといえる。運営できる団体は横浜市医師会以外にはなく、また、現在においても堅実に運営を行っている。
- 耳鼻科、眼科の診療科目を行っている点は、市民ニーズに応えており、他にない特徴といえる。救急搬送も受けている点は評価できる。
- 指定期間が10年間になり、勤務形態からしても看護職の定着は課題になってくるので、人材の育成や定着の観点からは、研修の充実や研修をしやすい体制をつくる必要がある。
- 市民の目線での情報開示や透明性という点ではアピールが必要。初期救急における事故事例もあるので、内部のみでの事例の共有に留めることなく、市民に対して公開することにより、安心・安全な気持ちで市民が利用できるようなしくみを作ってほしい。ホームページについても改善が必要。
- 初期救急の医療機関として、横浜市メディカルコントロール協議会との連携を図ってほしい。

(別添 1) 評価基準項目、配点

項目	審査の視点	配点
<b>1 団体の状況</b>		<b>15</b>
(1) 団体の理念・基本方針	団体の理念、基本方針及び業務実績などが、救急医療センターの設置目的と合致しており、管理運営者としてふさわしいものであるか。	5
(2) 財務状況	団体の財務状況が健全であり、指定管理業務を安定して行うだけの財政基盤を備えているか。	5
(3) 応募理由	施設の設置目的を十分に理解した妥当性・具体性がある応募理由であり、施設運営に熱意が感じられるか。	5
<b>2 基本方針</b>		<b>5</b>
(1) 事業実施の基本方針	救急医療センターの役割や特色を活かした事業展開が示されているか、本市救急医療体制への効果などが考えられているか。	5
<b>3 職員配置・育成</b>		<b>10</b>
(1) 職員の確保、配置及び育成に対する考え方	救急医療センターを運営していく上で、必要な職員の確保、適正な配置及び育成、研修についての考えや計画についての提案がされているか。	10
<b>4 施設の管理運営</b>		<b>40</b>
(1) 施設・設備の維持保全及び管理	施設の安全確保及び長寿命化の観点から、適切な維持保全計画となっているか。	5
(2) 小破修繕への取組	施設の安全確保及び長寿命化の観点から、適切かつ積極的な修繕計画となっているか。	5
(3) 事故防止体制・緊急時の対応	事件・事故の防止体制が適切か。事故発生時、緊急時の対応、連絡体制などに具体性があり、適切か。	5
(4) 防災に対する取組	市防災計画を踏まえ、公の施設としての役割を踏まえたものとなっているか。	5
(5) 利用者の意見・要望・苦情への対応	利用者の意見、要望、苦情への対応について、具体的な提案がされているか。	10
(6) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組	個人情報保護の取組に具体性があるか。情報公開への取組が適切であるか。 ヨコハマ 3R 夢プラン、人権尊重など本市の重要施策を踏まえた、取組となっているか。 市中小企業振興条例の趣旨を踏まえた取組となっているか。	10

<b>5 事業計画</b>		<b>60</b>
(1) 事業計画、事業展開	<p>○夜間急病センター事業（30点）  診療体制の確保について、具体的な計画があり、他の医療機関への転送の方策などが示されているか。</p> <p>○救急医療情報センター事業（救急医療機関情報の収集・提供）（10点）  救急医療情報センターの機能が十分に活用され、確実な情報提供がされるような具体的な計画となっているか。</p> <p>○救急医療情報センター事業（小児救急電話相談）（10点）  看護師による相談・助言業務の効果的な事業展開についての視点と具体的な計画が示されているか。</p> <p>○その他救急医療センターで実施する事業（10点）</p>	60
<b>6 収支計画及び指定管理料</b>		<b>20</b>
(1) 指定管理料の額	収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか。	10
(2) 経費節減への取組	経費節減への取組に関する具体的な提案がされているか。	10
<b>7 前期の指定管理業務の実績</b>		<b>12</b>
(1) 前期の指定管理業務の実績	<p>各項目4点</p> <p>○夜間急病センター事業</p> <p>○救急医療情報センター事業（救急医療機関情報の収集・提供）</p> <p>○救急医療情報センター事業（小児救急電話相談）</p>	12
合 計		162

(別添2)横浜市救急医療センター指定管理者選定評価基準

	項目		評価点の満点 (委員4人の合計)			委員会評価結果		
	大項目	中項目	配点 (A)	係数 (B)	合計点 (A×B)	採点 (A)	係数 (B)	合計点 (A×B)
1	団体の状況 (15点)	(1) 団体の理念・基本方針	20	1	20	19	1	19
		(2) 財務状況	20	1	20	19	1	19
		(3) 応募理由	20	1	20	19	1	19
2	基本方針 (5点)	(1) 事業実施の基本方針	20	1	20	17	1	17
3	職員配置・育成 (10点)	(1) 職員の確保、配置及び育成に対する考え方	20	2	40	15	2	30
4	施設の管理運営 (40点)	(1) 施設・設備の維持保全及び管理	20	1	20	17	1	17
		(2) 小破修繕への取組	20	1	20	17	1	17
		(3) 事故防止体制・緊急時の対応	20	1	20	15	1	15
		(4) 防災に対する取組	20	1	20	17	1	17
		(5) 利用者の意見・要望・苦情への対応	20	2	40	15	2	30
		(6) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組	20	2	40	15	2	30
5	事業計画 (60点)	(1) 事業計画、事業展開						
		夜間急病センター事業	20	6	120	16	6	96
		救急医療情報センター事業 (救急医療機関情報の収集・提供)	20	2	40	18	2	36
		救急医療情報センター事業 (小児救急電話相談)	20	2	40	17	2	34
		その他救急医療センターで実施する事業	20	2	40	14	2	28
6	収支計画及び 指定管理料 (20点)	(1) 指定管理料の額	20	2	40	16	2	32
		(2) 経費節減への取組	20	2	40	15	2	30
7	前期の指定管理業務の実績 (12点)	(1) 前期の指定管理業務の実績						
		夜間急病センター事業	16	1	16	12	1	12
		救急医療情報センター事業 (救急医療機関情報の収集・提供)	16	1	16	8	1	8
		救急医療情報センター事業 (小児救急電話相談)	16	1	16	8	1	8
合計					648			514

【採点基準】

「1団体の状況」～「6収支計画及び指定管理料」

悪い 不適切	←	普通	→	良い 適切
1	2	3	4	5

「7前期の指定管理業務の実績」

悪い 不適切	普通	優秀	極めて 優秀
-2	0	+2	+4